

平成 21 年 6 月 29 日
株式会社 山梨中央銀行

県内企業の事業テーマが「農商工等連携事業計画」に認定
～ 山梨中央銀行が認定サポート ～

株式会社山梨中央銀行（頭取 芦澤 敏久）が「平成 21 年度地域力連携拠点事業」の一環としてサポートした事業が、平成 21 年 6 月 29 日（月） 関東農政局および関東経済産業局から「中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動の促進に関する法律（農商工等連携促進法）」（平成 20 年法律第 38 号）に基づく、「農商工等連携事業計画」の認定を受けましたので、その概要をご案内します。

なお、当行がサポートし、「農商工等連携事業計画」の認定を受けた事業は、本件が 2 件目となります。

記

1. 事業概要

事業名	カミサリー（1 次処理）事業を核とした地元野菜を活用した地域モデル事業の開発及び運営	
代表者	株式会社 サラダボウル（山梨県中央市、代表取締役 田中 進）	
連携体	中小企業者	株式会社 青春カンパニー （飲食業：山梨県南アルプス市）
	農林漁業者	株式会社 サラダボウル （農業生産法人：山梨県中央市）
事業概要	株式会社サラダボウルは、今までにない生産工程・出荷工程の構築や新規作物の栽培ノウハウなどを確立するとともに、他の農業者との連携など地域農業のコーディネーター役を果たしていく。 株式会社青春カンパニーは、カミサリー（1 次処理）運営を行い、不安定供給に対応する体制構築や新商品開発等に取り組む。 詳細は別紙をご覧ください。	

2. 当行の「平成 21 年度地域力連携拠点事業」の実施体制

当行は、経済産業省（関東経済産業局）の委託事業である「地域力連携拠点事業」の実施機関として認定を受け、営業統括部公務・法人推進室に配置する応援コーディネーターが中心となり、地域の支援機関等とも連携を図るなか、中小企業等のお客さまが抱える経営課題等に応じて、その解決に適した機関の紹介、解決を図るための支援メニューの提案、各支援機関等と一体となった解決までのきめ細かなサポート等を実施しています。

特に、経営革新、地域資源活用、農商工等連携、創業支援、事業承継支援に重点を置いて取り組んでいます。

3．農商工等連携事業計画とは

中小企業者の経営の向上、および農林漁業経営の改善を図るため、中小企業者と農林漁業者とが有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用して、新商品の開発・生産、もしくは需要の開拓、または新役務の開発等を行うものです。

事業計画について認定を受けた場合には、農商工等連携対策支援事業による補助や中小企業信用保険法の特例などの活用が可能となります。

以 上

地域	山梨県 中央市	認定日	平成21年6月29日	通巻番号	3 - 21 - 053
----	---------	-----	------------	------	--------------

新規用途開拓による地域農産物の需要拡大、ブランド向上

カミサリー(1次処理)事業を核とした地元野菜を活用した地域モデル事業の開発及び運営

「畑からのメニュー開発」をコンセプトに、今までにない農業生産管理工程・出荷管理工程を新たに構築し、カミサリー(1次処理)を核にした新商品開発や新販路開拓を行う。

➤ 連携体

農林漁業者

(株) サラダボウル (農業)

慣行農業のスタイルとは一線を隔した新たな工程管理の確立、新たな作物への取り組み、遊休農地を活用した生産の拡大、新販路での販売に取り組む。

中小企業者

(株) 青春カンパニー (飲食店)

農産物の受入を行い、カミサリー(1次処理)の設置・運営及び新商品開発、店舗での商品提供を行う。

連携参加者

財団法人 やまなし産業支援機構、株式会社 山梨中央銀行
地域活性化支援事務局

サポート機関等

➤ 連携の経緯

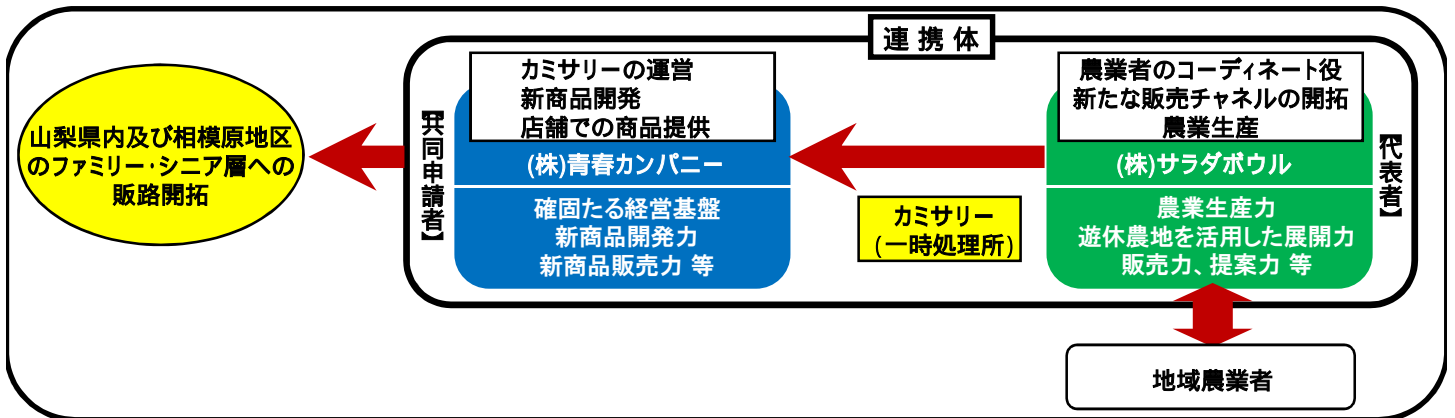
農業そのものの形を抜本的に見直し、収益構造を再構築することにより、農業が抱える様々な課題を解決していきたいと考えていた(株)サラダボウルが、「地元野菜」の安定的・戦略的調達、「畑からのメニュー開発」を希望していた(株)青春カンパニーと連携し、本事業を開始した。

➤ 連携に当たっての課題や工夫等

低い収益性の農業スタイルからの脱皮を課題とする(株)サラダボウルと地元野菜の安定的・戦略的調達を課題とする(株)青春カンパニーが連携し、モデルの確立に取り組む。

(株)サラダボウルは、今までにない生産工程・出荷工程の構築や新規作物の栽培ノウハウなどを確立するとともに、他の農業者との連携など地域農業のコーディネート役を果たしていく。

(株)青春カンパニーはカミサリー(1次処理)運営を行い、不安定供給に対応する体制構築や新商品開発等に取り組む。



➤ 連携による効果

農林漁業者

売上高: 0円(平成20年) 800万円(平成23年目標)
新たな農業ビジネスモデルの開拓

作業工程の大幅な削減、廃棄ロスの減少などが可能となり、農業そのものの収益構造を再構築し、高収益体質が可能となる。

中小企業者

売上高: 0円(平成20年) 3,600万円(平成23年目標)

「畑からのメニュー作り」により、他と差別化した新メニュー開発や歩留まりの向上、コスト削減、地元野菜の安定調達が可能となる。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名: 株式会社 サラダボウル 所在地: 山梨県中央市今福163
TEL: 055-273-2688 FAX: 055-273-2688
E-mail: tanaka@salad-bowl.jp ホームページ: http://www.salad-bowl.jp

関東農政局・関東経済産業局プレス資料